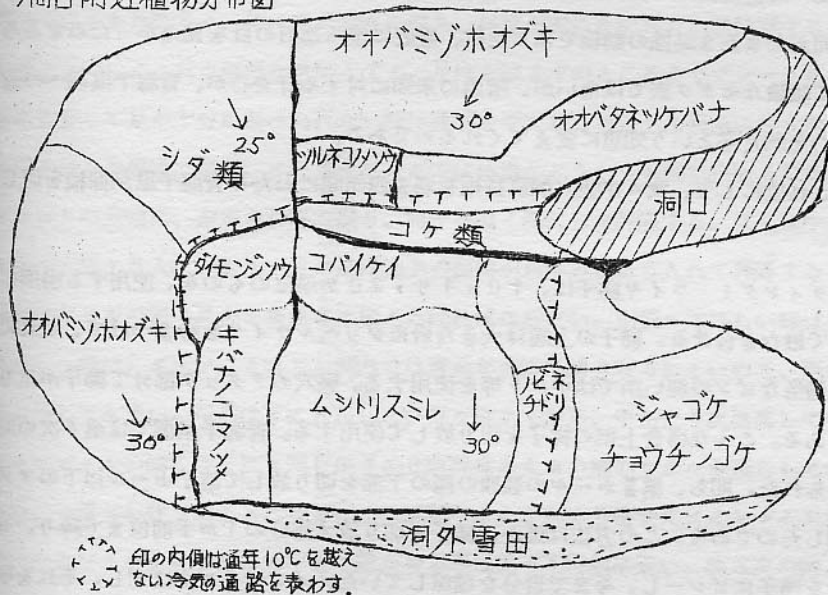


青海千里洞ドリーネ内の植物

水 島 淳

マイコミ平は標高600m、山地性植物の分布が主であるが洞口附近には洞内の雪溪で冷された $5^{\circ}\text{C}\sim 10^{\circ}\text{C}$ の冷氣吹き出しによって高山性植物も分布する。それも冷気の通路によって高地性植物と山地性植物がその分布を異にしている。これらの植物は1ヶ所に混棲していることで興味深いものである。つまり植物の垂直分布を上から押しつぶして中程に固めた様なものでその特異性がうかがえる。

洞口附近植物分布図



山地植物ではノビネチドリ: *Platanthera camtschatica* Makino. ツルネコノメソウ: *Chrysosplenium flagelliferum* Schi. オオバタネツケバナ: *Cardamine scutata* Thunb. オオバミゾホオズキ: *Mimulus sessilifolius* Maxim.

高山性植物ではキバナノコマノツメ: *Viola biflora* L. ウサギギク: *Arnica unalaschensis* Less. コバイケイ: *Veratrum stamineum* Maxim. ダイモンジソウ: *Saxifraga cortusaefolia* Sieb. et Zucc. ムシトリスミレ: *Pinguicula vulgaris* L. などが分布している。黄、青、紫、淡青などの可憐な花の穢りなす色彩は、暗い洞内で寒さに震えながら活動し洞口に帰り立つ我々に、ささやかな心の安らぎを与えてくれるものだった。